

令和2年度第2回社会教育委員会議 議事録

開催日時	令和2年11月26日(木)午前10時から午後12時まで
開催場所	埴生公民館
出席者	山陽小野田市社会教育委員12名 吉本 光良委員、半矢 幸子委員、城戸 邦之委員、矢野 憲文委員 能勢 俊勝委員、平中 政明委員、富永恵美子委員、大本 章男委員 香川 真澄委員、江中 幸夫委員、榎崎八由美委員、野村 誠委員 事務局 岡原教育部長、舩林社会教育課長、池田課長補佐 日浦主査、安藤係長、柿並係長、來嶋係長、縄田主事
欠席者	2名
<p>「山陽小野田市執行機関の附属機関」に属するため、「会議の公開に関する要綱」より、議事録をホームページで公表すること、また委員会規則より、14名中12名の委員の出席（過半数）で本会議が成立することを伝える。</p> <p>・吉本委員長 挨拶 以下、吉本委員長により議事を進行する。</p>	
委員長	それでは、議事に移ります。まず始めに地域学校協働活動について、事務局から説明をお願いします。
事務局	事務局職員によるパワーポイント資料を用いた「地域学校協働活動」についての説明。 ・学校支援地域本部事業について ・教育基本法「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」の規定の新設について ・学校支援地域本部3つの効果について ・山陽小野田市の学校支援地域本部事業について ・学校を核とした地域づくりの推進について ・今後の地域における学校との協働体制の在り方、目指すべきイメージについて ・第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論について
委員長	事務局から地域学校協働活動についての説明がありましたが、ご質問、ご意見等がありますか。 それでは、続いて地域学校協働活動の仕組みづくりと具体的内容についてご講話をお願いします。
近江教諭	埴生小学校近江教諭によるパワーポイント資料を用いた「地域学校協働活動の仕組みづくりと具体について」の説明 ・地域ブランドづくり学習「THE 埴生学」の構想について ・学校・地域連携カリキュラムの作成にあたって ・協働活動の具体について
委員長	どうもありがとうございました。ご質問を受けつけたいところですが、時間の関係もありますので、ご質問がある方は後ほど、個人的にお願いします。それでは、本会議のためにご準備いただいた近江先生に今一度拍手をお願いします。 続いて、4番の協議に移ります。協議については事務局が進行されるので、一旦マイクを事務局にお返しします。
事務局	失礼します。次第4の協議につきましても事務局が進行させていただきます。 事務局で設定させていただいたA、B、C、Dの4つのグループでご協議をお願いします。内容は近江先生のご講話にも本課職員の説明にも出てきた協働活動における大人の学びについてです。地域づくり、地域の成長のためには、子どもの学びだけではなく、大人の学びも重要です。協働活動は、学校支援という形でスタートしたことにより、子どもの学びにスポットが当たりがちですが、学校と地域がパートナーとなって互いに成長していくためには、子どものみならず大人の学びが重要となってきます。埴生地区に

	<p>おいては、先進的な取組が進んでいるところですが、他地域においても、この大人の学びを促進していくために、どのような取組が考えられるでしょうか。ぜひ委員の皆様にご助言、アイデアを頂きたいと思い、この協議を計画させていただきました。どうぞお力添えをお願いします。</p> <p>協議後、全体で情報を共有するため、各班1、2分程度でご報告をお願いいたします。グループ内の司会、記録、発表の役割分担はお任せします。本課職員も入っておりますが、委員の皆様で司会、発表等をお願いできたらと思います。それでは10時55分までを目途にご協議いただき、その後、発表ということをお願いします。</p>
各グループに分かれて協議	
事務局	<p>ありがとうございました。それでは時間になりましたのでAグループから発表をお願いします。</p>
Aグループ	<p>失礼します。Aグループで出た意見について発表いたします。</p> <p>大人の学びを促進していくためには地域の大人が興味を持てるようなこと、例えば身近な山陽小野田市の歴史などから学んでいくのがいいのではないかという意見が出ました。</p> <p>また、大人の学びを促進していくためには地域の人が集まる場所である公民館を活用していくことが重要という意見が出ました。Aグループからは以上です。</p>
Bグループ	<p>Bグループから発表いたします。</p> <p>身近な学びとしてごみの分別についての意見が出ました。地域のごみの分別について、意外と大人も詳しく知らない人が多く、親子で学ぶ必要があるのではないかと思います。公民館でそういったごみの分別についての講座を行い、親子で学べる機会を作ること面白いのではないかという意見が出ました。</p> <p>また、各地域で大人の学びについてまず議論を行うべきであり、そういった議論にはいつも同じ人しか参加しない傾向にあります。より広いつながりを持っていくために地域の人を巻き込んでいく工夫をしていかなければいけないという意見が出ました。</p>
Cグループ	<p>Cグループから発表します。</p> <p>地域と学校が協働していくためには、まずお互いを知る必要があります、学校と地域がお互いの領域に入っていく必要があるという意見が出ました。</p> <p>また、家庭教育支援の活動は親の学びに繋がっており、そういった他の団体の活動や、各地域で行っている地域学校協働活動の様子を学んでいく必要があるという意見が出ました。以上です。</p>
Dグループ	<p>続きましてDグループから発表いたします。</p> <p>公民館の教養講座で学んだことを、子ども達に還元する、そういった学びの循環が重要であり、大人の学びに繋がっていくのではないか、という意見が出ました。</p> <p>また、社会教育と学校教育が互いに歩み寄り、学社融合を進めていくことが大切であり、その中で地域コーディネーターの役割が非常に重要となってくるという意見も出ました。以上です。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。本日いただいた貴重なアイデア、ご意見は今後の各地域の協働活動の取組充実に生かしていきたいと思っております。今回の協議内容、全てに通じて言えることですが、これらの取組を実現するためには、やはり「人と人とのつながり」が重要となってくると思っております。学校と地域をつなぐ役割であるコーディネーターの存在は大変有益なものです。改めてコーディネーターの意義と役割について考えていきたいと思ったところです。それでは協議を終わりたいと思っております。ありがとうございました。</p>
会長	<p>それでは次第5の「学校施設見学」にうつります。本日、中学校では試験が行われていると聞いています。移動する際にご配慮をお願いします。城戸校長先生、ご案内をお</p>

	願います。
埴生小中学校の施設見学	
委員長	続いて 公民館施設見学になります。佐々木館長ご案内をお願いします。
埴生公民館の施設見学	
委員長	皆様、お疲れ様でした。ご着席をお願いします。それでは、事務局にお返しします。
事務局からの連絡	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進員の委嘱について ・次回会議の予定について（令和3年2月を予定） 	
閉会挨拶 社会教育課課長	